

非常に効果的と評価した取組一覧

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
総合相談支援業務	相談支援①	地域の高齢者と社会資源を容易につなげることができるよう、作成した社会資源マップをInstagramで公開し、いつでもだれでも閲覧できるようにした。(松原)	Instagramで社会資源マップを公開し閲覧できるようにすることで、センター職員が掲載機関等に出向くことなく、誰でも見て活用ができる取組みであり、業務の効率化を図ることができ他の業務の量的拡大が見込まれる。
	その他	「生活のお役立ち情報封筒」を利用者毎に作成し、必要なサービス情報をまとめて提供している。(坂下)	利用者毎に必要な資源情報を「生活お役立ち情報封筒」にまとめて情報提供することで、本人・家族が必要な情報を一目で確認ができ、何度もセンター職員が訪問等で説明する必要もなくなり、利用者に分かりやすく、且つ業務の効率化を図ることができ他の業務の量的拡大が見込まれる。

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
権利擁護業務	消費者被害の防止	公式LINEアカウントを作成し、登録者へ特殊詐欺等の注意喚起を定期的に発信し、被害防止に努めた。(東部)	担当圏域内での事案や消費者被害に関する情報等を一度に複数の市民に情報共有するため、公式LINEアカウントで発信する取組みを行っており、業務の効率化を図ることができ他の業務の量的拡大が見込まれる。
	その他	養護者自らが不適切な対応に気づくことができるチェックシートの原案を作成し、社会福祉士研究会で活用等を検討するよう提案した。(柏原)	養護者が「自分が虐待しているかも…」と自覚し、相談につながることができ、高齢者虐待が未然に防止できるシートの原案を作成し、社会福祉士研究会で検討するよう提案した。社会福祉士研究会で活用に向けて検討することで、他センターも含め職員の資質向上につながる取組となっている。また、完成後は養護者が不適切な対応だと自覚できることで職員の精神的負担の軽減、業務の効率化を図ることができる取組みとなっている。

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
包括的・継続的ケアマネジメント業務	包括的・継続的なケア体制の構築	地域の介護支援専門員と民生委員が合同で参加するBCP（事業継続計画）についての研修を実施した。（坂下）	介護支援専門員から民生委員に業務を説明し、互いの役割の理解や BCP 策定に向けた連携強化を図る機会となり、包括的・継続的ケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。
		小学校区単位で介護支援専門員と民生委員の交流会を開催し、連携を図ることができる体制を構築した。（高森台・石尾台）	円滑に連携を図ることができるよう小学校区で介護支援専門員と民生委員の交流会を開催することで、地域包括支援センターを介さずに直接連携できる仕組みが構築でき、他の業務の量的拡大が見込まれる。
		介護支援専門員と医療相談窓口の連携を強化するため懇談会を開催した。（柏原）	介護支援専門員が事例をもとに医療機関との連携について説明し、交流することで利用者の入退院時の連携が円滑にできるようになり包括的・継続的ケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。
		医療機関との連携強化のため、担当圏域内の介護支援専門員がかすがいねっと連絡帳の登録と活用ができるよう、好事例の紹介や寸劇を交えた勉強会を開催した。（中部）	好事例を介護支援専門員が他の介護支援専門員に説明する、寸劇を交えるなど講義の内容を工夫することで、かすがいねっと連絡帳を活用することのメリットを効果的に伝えることができ、医療機関や介護事業所との連携が円滑にでき包括的・継続的ケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
包括的・継続的ケアマネジメント業務	包括的・継続的なケア体制の構築	コロナ禍でも担当圏域内の介護支援専門員同士の連携・情報交換ができるよう、オンラインで交流会を開催した。(西部)	新型コロナ感染拡大時期でも開催できるようオンラインで介護支援専門員の交流会を開催し、医療機関との連携方法等の情報交換ができ、包括的・継続的なケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。
	介護支援専門員に対する支援	担当圏域内の主任介護支援専門員が委員となりBCPの作成に向けた検討委員会を発足し、年2回定期開催している。(高蔵寺)	地域の主任介護支援専門員が委員となり、BCPの作成に向けた検討委員会を定期的で開催することで、介護支援専門員自らで困りごと等を検討する場となり、包括的・継続的なケアマネジメント業務の資質向上が見込まれ、センター業務の軽減も期待できる。
	その他	センターが作成した社会資源マップ等をかすがいねっと連絡帳で介護支援専門員に情報共有し、インフォーマルサービスの活用を促進した。 (高森台・石尾台、東部、鷹来、柏原)	かすがいねっと連絡帳でセンターが作成した社会資源マップ等を共有することで、介護支援専門員がインフォーマルサービスをケアプランに位置付けることができ、包括的・継続的なケアマネジメント業務の資質向上が見込まれる。また、社会資源の情報更新が容易にできるため業務の効率化を図ることができ、他の業務の量的拡大が見込まれる。

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
地域ケア会議開催業務	その他	町別に地域住民等との連携内容や地域の情報を記録している。(高蔵寺)	記録を確認することで対応した職員以外でも地域とのやりとりを把握することができる取組みであり、業務の効率化を図ることができ他の業務の量的拡大が見込まれる。
		市の既存の制度である「かすがい健康マイレージ」を活用したコロナ禍でも実施できる介護予防の取組みを創設した。(柏原)	既存の制度を活用した取組を創設することで、一から新たな取組を創設するより効率的に効果的な取組みを実施でき、他の業務の量的拡大が見込まれる。
	その他	新規職員に対して習熟度に応じた計画的な研修体制を整えている。(坂下)	業務の優先度や習熟度の確認方法等センター内で研修体制をきめ細かく整備することで、新規職員に計画的な教育を実施することができ、人材育成に効果的な取組みである。